

貸し出し事例 01 ~ ~ ~サーバーアラーム調査編 ~ ~ ~

夜間にサーバーがダウンする現象の相談を受けた。季節的にちょうど暑くなってきた時期であったため、温湿度たまごを貸し出し、暑さが要因となったものか探ることにした。

計測の環境

7月末、某相談者が出勤すると事務所設置のサーバー機1台がアラームを発していた。再起動した後、日中の使用には問題がなかったのだが、翌日出勤するとやはり前日と同じようにアラームが鳴っていた。

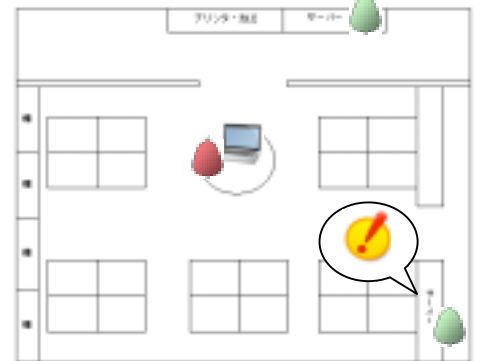
数日前から暑い日が続いたためエアコンを切った退社後、夜間の温度

上昇は要因に考えられないだろうか、とのご相談をうけ早速温湿度たまごを設置しデータ収集を開始した。

計測はデータ収集用サーバー機の横に1台。メインサーバー・プリンタ・FAX など熱源となりやすい機器を集めたエリアに1台。そして問題のアラームが鳴ったサーバー付近に1台という構成で行った。(右図参照)

因みに該当サーバーの動作温度

条件は5~35 と明記されている。



1 回目

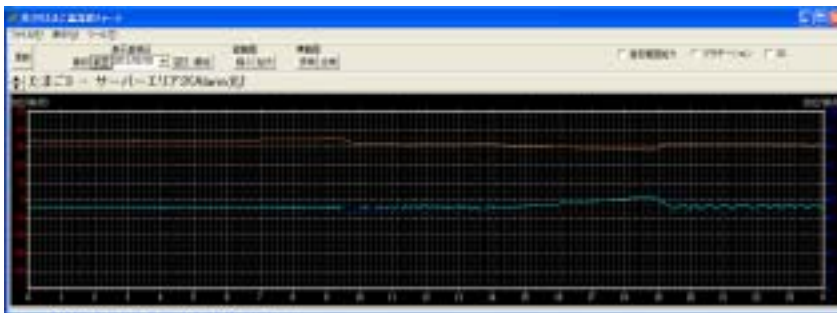


図2: 温湿度収集データグラフ(夜間)

アラームが鳴った状態のまま一昼夜のデータを収集したところ35.2を記録し、他の2ヵ所に比べて明らかに温度が高くなっている事がわかった。(図2参照)

当然ながら出勤時は前日までと同じようにアラームが鳴っていた。

2 回目

ベースとなる情報の収集を終え、実際に温度による影響があるものか確認するため当該エリアに小型扇風機をまわした状態で、再度一昼夜のデータ収集を行った。(図3参照)

しかしながら扇風機を設置した日が土曜日であり翌日曜日は出勤者もなく、当然エアコンが入ることもなかったため最高温度は夕方の37.2 という結果になったが、月曜日の朝、久々にアラームは鳴っていなかった。

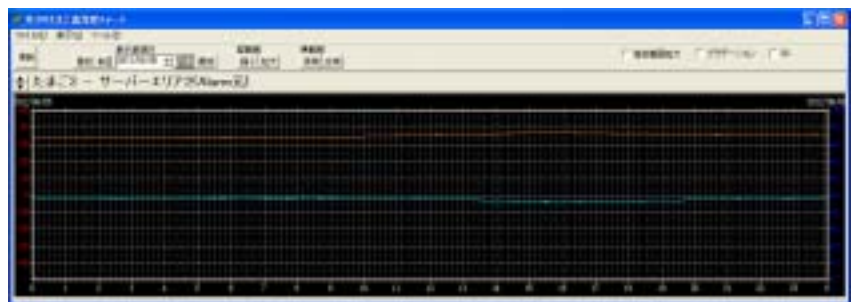


図3: 温湿度収集データグラフ(日中)

ったと思われる。

とはいえ、厳密な意味で情報収集をするにはデータ収集日(曜日)、設置場所の重要性も課題として見直しを行っていきたい。

結論 ~ ご報告 ~

経年劣化による交換時期であることとは別に、サーバーの設置場所が想定以上に温度が高くなるのがわかり、機器の移動を合わせてお勧めした。

計測結果の解析

温度のみでは結論が出せない範囲ではあったが、扇風機をかけたことにより空気が動き、周囲の温度以上に本体の温度が下がったのではないかと考えられ、応急処置としての効果はあ

お問い合わせ



株式会社 ラムテック

〒270-0034
千葉県松戸市新松戸 3-283
ゆりのきセンタービル 2F

TEL : 047-343-8110
FAX : 047-330-4899

お問い合わせ

<http://www.lamtec.co.jp/info>